

工業製品製造業における 新製品の開発支援

(地独) 山口県産業技術センター
技術支援部

部長 藤井 謙治



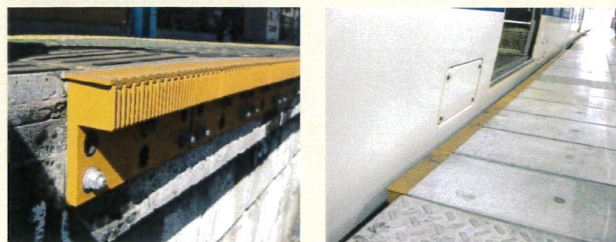
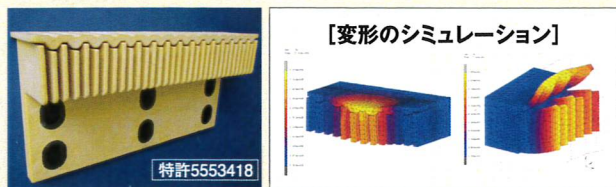
山口県内の幅広い製品分野の工業製品製造業に対し、主に使用者にとっての使いやすさや、新たな機能の付加等を観点とした製品開発支援を数多く行った。その結果、商品化された製品及び販売実績を上げた製品は多い。

また、3Dものづくり機器の利用技術や真空注型技術に取り組み、その結果を県内企業に技術移転することで、製品製造が事業化された。これらにより、数多くの県内企業の製品開発に大きく貢献した。

1. プラットホーム安全対策品 「スキマモール」の開発支援

列車への乗り降りの際に、プラットホームと列車の隙間に足を落とす事故が頻繁に起きている。これを防ぐことを目的とした、プラットホームの隙間を小さくするための製品開発支援を行った。ハイヒール等の面積が小さい荷重を受けても楕状ゴム板が広がりにくく、また列車が接触した際には天板が列車との間に巻き込まれることなく上方へ捲れ上がる機能をデザインした。

本製品は商品名「スキマモール」とされ、JR西日本をはじめとする多数の鉄道事業者採用され、国内各地の駅に施工されている。



2. 砂利固定具 「せきそうフィット」の開発支援

神社や公園など砂利を敷いた舗装面では、足が沈み込んで歩行しにくい、あるいは自転車や車椅子等の車輪が沈み込んで走行しにくい等の現象が起こり、加えて砂利の移動により舗装面が波打つことで美観を損ねる。これを防ぐため、砂利の移動を抑えることを目的とした砂利固定具の製品開発支援を行った。

製品自体が湾曲することで、ある程度地形に合わせて施工することができる機能、また、箱状の隔壁の並びをゆるやかな波形にすることで、施工した際に変化のある意匠となることに加え、波形同士が噛み合うことで平面方向の横ずれが生じにくくなる機能をデザインした。

